

## 大会時・コロナ禍での取組

・2019年：テレワークの導入を決定。都のテレワーク促進助成金を受けて整備開始

### 人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

- テレワーク・・・実施率約5割
- オフピーク通勤・・・コアタイムを設定。出勤時間の前後に幅を持たせて実施（働き方改革の一環としても推進）
- 会議等のオンライン化・・・社内外ともにオンライン化

### 物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

- 取引先との配送に関する調整
  - ・事前に取引先と打合せを行い、発注時期を前倒ししたり、東京2020大会前に在庫を調整したりすることなど、配送についての段取りを実施

### 取組ポイント

- 事前に都の補助金を受けて整備を促進
- 働き方改革としても推進
- 社内の定例会議等は全てWEB会議に

### 取組ポイント

- 事前に取引先と調整

## 今後の取組

### 人の流れ

継続して取組を実施予定

- テレワーク
- オフピーク通勤

※テレワークやオフピーク通勤は社内規定に定めて継続

- 会議等のオンライン化

### 物の流れ

- 取引先との配送に関する調整

・今後も同様に継続

## 【東京2020大会を振り返って】

- ・営業活動においても、お客様からWEB会議で行いたいという要請が多く、現在はオンラインで実施している。
- ・「大会輸送影響度マップ」等の情報を得ていたが、東京2020大会期間中は人流も増えず、混雑もなかったため、参考にするほどではなかった。
- ・物流の業務はそれほど多くないが、東京2020大会期間中は、交通規制や混雑等により、配送に遅延が発生する可能性があることは認識していた。
- ・東京2020大会が無観客開催になったことにより、遅延もなくスムーズに配送できた。